

令和5年度 第4回 佐藤小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和6年2月21日（水）9時30分から11時00分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、湯山 紀美代、野中 せつ子、磯部 栄里子、安富 小織
4. 欠席委員 河合 銀平
5. 学 校 伊藤 千恵（校長）、高木 康泰（教頭）、大石 葉子（CS担当）、
鈴木 雅子（CSディレクター）
6. 教育委員会 牧野 智子（教育総務課）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 雅子
9. 議長の選出

前回の運営協議会で、尾上会長自身が議事進行する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10. 協議事項

- (1) 令和5年度学校関係者評価（「いじめ防止基本方針」についてを含める）
- (2) 令和6年度学校運営の基本方針
- (3) 学校運営協議会の自己評価
- (4) 夢育やらまいか事業の報告
- (5) 学校支援活動充実に向けた具体策

11. 会議記録

教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和5年度学校関係者評価（「いじめ防止基本方針」についてを含める）

教務主任から、別紙資料に基づき学校関係者評価についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

安富委員 対応チームが立ち上がることは良いことだが、後手後手にならないようにその都度早急に対策できるとよい。

尾上委員 対応する教師によって判断の違いがあってはいけない。

大きないじめになる前に子供たちの小さな社会で考え解決していけると良い。

学校関係者評価については考える子の項目にある『子供たちは、勉強が分らないときに、教師に聞くことができる。』について熟議された。

磯部委員 それぞれの立場で感じることは異なるが、教師に聞かず解決できるツールが今はあるので、それはそれで良いことだと思う。

野中委員 子供が分からない時に聞きに行くことができない性格の場合、それが保護者からの評価に反映されるのでそれぞれの目線で評価が違ってくると思う。

尾上委員 友達同士で対話して解決していくことをサポートしていくのが教師の役目なのかもしれない。

また思いやる子の項目にある『子供たちは、進んで挨拶をしている。』についても熟議された。

評価のアンケートに回答することについて

湯山委員 CSの立場から普段の生活が分らないので参観会だけでは評価が難しい。

尾上委員 全体を見て概ねそうだろうという評価が果たして必要なのか。
等熟議された。

熟議の結果、評価を見て今後の子供たちの支援につながる活動ができたらという結論に達した。

(2) 令和6年度学校運営の基本方針

校長から、別紙資料に基づき令和6年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

安富委員 『健やかな子』の部分が体育に特化しているように感じる。体育や運動が苦手な子もいる。

校長 運動に対して苦手意識がある子供たちも目標意識を持って取り組めるようにしたい。

尾上委員 多様性を理解し、それはいいものなんだということを広げていける教育ができると良い。

磯部委員 不登校の子供が増えている今、そういう子供たちに対してのケアを地域と連携し、取り残されないようにできると良い。

熟議の結果、全員が異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

酒井委員 普段関わりのない子供たちと関わり合えるチャンスをいただけて良かった。

口頭にて自己評価について話し合い別紙資料にまとめた。

(4) 夢育やらまいか事業の報告

教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業の報告について説明があった。

(5) 学校支援活動充実に向けた具体策

学校支援コーディネーターの安富から今後の活動や、個人情報の管理についての説明があった。

野中委員 ボランティアの活動名は児童から募集すると親しみやすくなるのではないか。

尾上委員 活動が軌道に乗ったところで名称を付けても良いのでは。

熟議の結果、学校の需要と供給に合わせたボランティアを集めていく活動をしていくことが承認された。

その他報告事項

教頭から今後の学校公開は3月18日(月)卒業式を9時10分から体育館で開催する旨の報告があった。

また来年度の学校運営協議会委員の交代と第1回学校運営協議会が4月23日(火)13時10分から、佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。